

子ども体験学習「郷土料理ほうとうを作ろう」の概要

- 1 日時 平成20年10月9日(木) 9:30~12:00
平成20年10月10日(金) 9:30~12:00
13:30~15:30
- 2 場所 忍野村立忍野小学校
山梨県南都留郡忍野村忍草1516
- 2 参加者 忍野小学校4年生 114名(38名×3回)
忍野小学校 4年生担任 土屋 実他5名
忍野村 保健衛生課主任 渡辺 文子
保健衛生課管理栄養士 堀内美香子
食生活改善推進員 天野 智子他9名
山梨農政事務所 消費生活課表示・規格指導官 岩間 光明
消費生活課消費経済係長 上田 正
消費生活課調査指導係長 奥山 祐司

4 内容(概要)

- ① 講演 ~「食べ物と健康のはなし」 忍野村
~「食事バランスガイド」の説明 山梨農政事務所
教育ファームの取組について
- ② 体験学習 ~ほうとうづくり 食生活改善推進委員
山梨農政事務所
- ③ 試食 ~ほうとう 食生活改善推進委員
- ④ 意見交換 忍野村
山梨農政事務所

5 意見交換概要

食改推:	教育ファームへの支援は?
事務所:	平成20年度については、教育ファームモデル事業があります。山梨県では、北杜市、西桂町、NPO「えがおつなげて」、JAフルーツ山梨が実施しています。金銭的な支援ではありませんが、山梨農政事務所でも実施あたって、できる限りの協力をしたいと思っております。
食改推:	食改推のレベルアップのためにも講演等の指導をお願いします。
事務所:	要望があれば対応いたします。
食改推:	自給率向上対策として国が行っていることは?
事務所:	消費面では、バランスのよい日本型食生活の推進及び地産地消の推進により国内製品の消費拡大を、生産面では、強い農業を構築するため、水田経営所得安定対策等で担い手支援を行っています。需要と供給のバランスが重要となりますので皆様のご理解をお願いします。

先生 :	以前は出前授業がありましたが、今後、「総合的な学習」への協力体制はありますか？
事務所 :	職員が減少したため、要望に応えられるかは疑問が残りますが、できる限り要望に応えたい。

○小学生の感想

- ・自分で作れるのか不安だったが「ほうとう」が作れてよかった。
- ・家で食べる「ほうとう」よりおいしい。
- ・まだ一人では作れないけど、家で「ほうとう」を作る時にお手伝いしようと思った。
- ・世界には食べれなくて死んでしまう子どもがいることに驚いた。
- ・食べ物を作ることは大変とわかったので、好き嫌いを減らし食べ残しをしないようにしたい。